

桂坂山の手倶楽部だより

(第11号)

平成20年2月1日発行
桂坂山の手倶楽部だより編集委員会



役員会だより

第3回役員会(11/10)

事務局 八木 兵司

1. 議題に入る前に「桂坂包括支援センタ-」の担当者より「同センタ-」の概要説明を受けました。そして「同センタ-」のパンフレットを会員の皆様に配布することにしました。
2. 「第14回趣味の作品展」の開催要領について検討しました。
3. 新年互礼会の開催要領を検討し、細部は実行委員会に任せることにしました。

市・区老連だより

教養講座開催

研修委員 松本 初次

昨年11月9日、洛西総合庁舎大会議室において、松尾大社の宮司 佐古一洵師から「酒三杯は身の薬」という非常に面白くて有意義なお話を聞きました。全体で120名余りの参加者があり、当倶楽部からも十数名の会員の皆様のご参加を頂きました。

これからも、有用と思われる研修会が企画されますので、皆様のご参加をお願い致します。

四国の旅開催

福利厚生委員 西澤 四郎

区老連主催の四国高松「花樹海温泉」一泊旅行が、昨年11月29日～30日に開催されました。当倶楽部からの参加者は5名と少なかったですが観光バス2台で、岡山最上稲荷から善通寺を拝観して花樹海温泉喜代美山荘に泊まりました。宿は眼下に高松駅、瀬戸内海の島々が手に取るように眺められ、新鮮な魚料理とかくし芸の数々で楽しい宴会となりました。翌日は、栗林公園から屋島を見学し徳島では阿波踊りの実演を見せてもらい、桂坂に夕刻7時頃に帰って来ました。

次回には、もっと大勢の方が参加して頂けるように計画します。是非、参加して下さい。

義援金集計結果

奉仕委員 高木 紀子

前号の広報誌で、当倶楽部からの義援金が17,368円集まり、そのお礼の記事を載せさせて頂きましたが、西京区老連全体では311,009円もの義援金が集まりました。これらは西京区にある15の各施設に2万円づつ贈呈されました。

皆様のご協力ありがとうございました。これからも、このような依頼があると思いますがご協力の程よろしくお願い致します。

市・区老連機関紙発行

広報委員 田中 健一

去る12月5日、西京区役所で広報委員会が開催されました。今回は、区老連発行の機関紙「西京老連」第58号の最終校正をし、山の手倶楽部からは俳句9点、随筆2点の寄稿があり新年号に掲載されました。多数の方が寄稿して頂き、お礼を申し上げます。

区老連主催のボウリング大会

体育委員 岡村 英明

12月10日(月)第2回西京区老連ボウリング大会に、山の手倶楽部ボウリング同好会より10名の方が出場されました。人気の高まりにつれ今回は参加者92名(初回80名)エミナ-スボウリング場の16レーンをフルに使って熱戦が展開されました。

昨年、高木さん(かえで)の優勝で注目を集めた桂坂学区は、今回も期待に違わず第1倶楽部の田中健一



さんが2ゲ-ム合計372点の抜群なスコアで優勝された他、高木さん、乗本さん、細谷さん、岡村がベストセブンに入りました。

高齢者間でもボウリングの愛好者は年々増えています。次回の大会でも好成績を出すよう、これからもボウリング同好会の練習に身を入りたいと思っています。



市老連主催の作品展案内

文化委員 喜多 みどり

1月1日発行の「京市老連」にも掲載されていましたが、2月14日(木)と2月15日(金)の両日、京都勤業館(みやこメッセ)地下1階で今年も「作品展、健康展、福祉展」が開かれます。

各区老連から絵画、書、写真、手芸等が出展されます。山の手倶楽部からも西京区老連より絵画5点、書6点、俳句5点、写真5点出品します。作品展が、だんだん盛況で西京区も108点という例年より多い出品申込があり、役員一同嬉しい悲鳴というところです。各区ごとに力作が展示されて居りますので、寒い時でもあってお出掛けにくいかもしれませんが、是非お一人でも多く観賞して頂ければと思います。尚武田病院グループの「健康展」大阪ガスや市消防局の「福祉展」もありますのでそちらの方も楽しんで下さい。

同好会だより

園芸同好会休会

園芸同好会 松本 初次

講師の青井 勇氏のご都合により、園芸同好会の活動が難しくなりましたので、定期的な活動を当面中止することにしました。会員の皆さんの希望があり解散はせずに休会扱いとして新たな会員の募集を見合わせ、新しく講師が見つければ活動を再開することに致します。

その他のお知らせ

野鳥遊園での作品展

展示(俳句)担当 安楽 つねみ

平成19年7月より山の手倶楽部では、写真・俳句・水彩画・書道の各同好会がそれぞれ2ヵ月づつ作品を野鳥遊園に展示してまいりました。

変り行く四季の美をとらえた写真、春夏秋冬のよろこびや憐れをうたった俳句、実物の様に鮮明に写生された水彩画。水茎の跡も美しい書道。一人々々の日頃の努力を展示する事が出来ました。

野鳥遊園の緑を楽しまれた方々にとって展示された作品がきっと印象に残った事と思います。



今年度も前年同様に展示をする事になりましたので一人でも多くの方々に見に来て頂ければと思っ
て居ります。

季語(夏)

かわせみ るり

翡翠の瑠璃色こぼす山の池

つねみ

第2回地域ケア会議開催

事務局 八木 兵司

去る10月30日、桂坂自治会館で表題の会が開催され、当倶楽部から3名の役員が出席しました。この会議は、「沓掛地域包括支援センター」が中心になって関係団体が地域の高齢者の支援を目的に各種の情報交換をするために定期的に行われているもので、当倶楽部から初めての参加でした。この席で上記支援センターが活動をしていることが分かり、先に当センターのパンフレットを会員の皆様にお配り致しました(必要に応じて積極的にご活用をお願い致します)。

当倶楽部でも会員の高齢化が進んできており、会員同士の助け合い活動の必要性が出てきていますので、今後外部の情報も参考にどのような活動をしていけば良いか検討を進めて行きたいと考えています。

第14回作品展の反省会開催

作品展担当 八木 兵司

去る11月2日、日文研「赤おに」にて作品展実行委員会メンバーで今回の作品展の反省会を行い改善点等を確認致しました。主な課題は以下の通りです。

- ・区老連の機関紙に事前にPR文書を掲載すること。
- ・一般会員の作品の募集をもう少しPRすること。
- ・展示用の資材を再整備すること等。

新年互礼会開催

担当者 西澤 四郎

1月6日(日)ふれあい会館で、当倶楽部の新年互礼会が開催されました。当日は好天に恵まれ82名の大勢のご参加を頂き、会場熱気あふれるなか岡会長の新年挨拶につづき第二倶楽部の乗本会長の乾杯の発声で始まりました。

会は謡曲、コーラス、カラオケ同好会の皆さんの歌を聞かせて頂いたり、正月料理に舌鼓みを打ちながら皆で歌ったりゲームをしたりして久しぶりに童心の気分に戻りました。

来年はもっと工夫を凝らして楽しい会にしたいと思っていますので、是非ご参加頂くようお願い致します。



「朝の声かけ活動」に参加して

第4倶楽部 岡村 英明

1月21日(月)から5日間、3年目を迎えた桂坂小学校恒例の「朝の声掛け活動」に、PTAの皆様と「子供見守り隊」の青山隊長を先頭に、山の手倶楽部有志の方々延べ30名が参加しました。

折からの寒波で、連日みぞれ交じりの身を切るような寒風の中、頬を真っ赤に染めて元気よく登校する「かざらっこ子」達の「おはようございます!!」の挨拶に、こちらが元気を貰った5日間でした。学童たちは大体8時から20分間で登校を終えるまとまりのよさ。大文字駅伝(2月10日日曜10:45分衣笠小学校グラウンド、スタート)の早朝練



習中の選手達も校門に立って気持のよい挨拶を交わしていました。

学童達の安全な環境を確保するために、地区住民として、今後も登校・下校時の見回り活動などを続けたいと思いました。

会員募集のポスタ - 掲示終える

ポスタ - 担当 西澤 四郎

各自治会のご協力を得て、昨年7月より会員募集のポスタ - を掲示してまいりましたが、この2月に「日帰り探訪」同好会の紹介をもって終わることとなりました。各同好会には、原稿や写真の提供など頂き有難うございました。ポスタ - を見て「同好会に入りたいので山の手倶楽部に入会された」との話を知るとありがたく、機会をあらため内容ももう少し工夫して目に訴えられるようなポスタ - を再登場させたいと思っています。その時は、皆様のご協力をお願いします。

桂坂小学校遊び会開催予定

小学校担当 松本 正二

来る3月1日(日)午前10時30分より、桂坂小学校で「昔遊びとおぜんざいの会」が予定されています。「コマ回しにケン玉」「百人一首やお手玉」などの昔の遊びに「囲碁・将棋」、天気が良ければ「グラウンド・ゴルフ」を子供達と楽しめます。会員の皆様に個別にご参加をお願い致しますので、心得のある方は是非当日、小学校の「ふれあいレ・ム」にお越し頂くようご協力をお願い致します。子供達と遊んだ後で、おいしい「おぜんざい」が待っているそうです。

第17回定例総会開催予定

事務局 八木 兵司

恒例によりまして、表題の会を4月19日(土)11時より、「ふれあい会館」に於いて開催致します。総会の後親睦会も予定しておりますので、会員の皆様お誘い合わせの上ご出席頂きますようよろしくお願い致します。

会員投稿欄

野菜作りを始めて一〇年余り、京都市老人農園で三丁四坪の猫の額のような貸農園で始めましたが物足りなくて、畝間で一〇〇坪程の休耕田を借りて本格的に野菜作りを手掛けました。

さて、いよいよ「じゃがいも」の作付シーズンです。最近「北めかり」や「アンデスレッド」の赤や黄色の新種が出回っていますが、私は北海道産「伯爵」の種イモを探しています。

畑の準備で、根菜類は肥料喰いと言いますから元肥を十分に施します。誰かから聞いたか憶えています。後二回の土寄せと追肥をします。やがて、五月に収穫する「新シャ」が「はるかしても煮つころがしても美味しすみます。」

そして、夏野菜の準備にも掛かります。夏野菜と言えば、やはりキュウリにトマトにナス、燦々と太陽の光を受けた野菜は、本来の甘味が凝縮され、れ完熟で収穫するトマトなどは果物です。そんな野菜も苗の選定から始まります。形や大きさに味、自分の好みで選びますが、接木苗が主流となってるなかで私は実生苗のほうが美味しいと思ひ込み、自称実生流なのです。未生流ではありません。

野菜作りは、植え付けた時から草と害虫との戦いです。一言で無農薬、有機栽培と言いますが、小松菜などは芽が出た時から湧き出てきた黒い虫に食われてしまい人様の口に入りません。やはり、減農薬で散布の時期を考えています。

肩書をなくした名刺は物足りないもので私は「京都府地域菜園アドバイザー」の肩書を付けた名刺を作りました。バカな奴だとお笑い下さい。畑キチ

楽しみな野菜作り

準備にも掛かります。やはりキュウリにトマトの光を受けた野菜は、れ完熟で収穫するトマトそんな野菜も苗の選定や大きさに味、自分の好みで選びますが、接木苗が主流となってるなかで私は実生苗のほうが美味しいと思ひ込み、自称実生流なのです。未生流ではありません。

今年度の編集委員

第1倶楽部	田中 健一 (332-1565)	第2倶楽部	安楽つねみ (332-6768)
第2倶楽部	西澤 四郎 (333-1357)	第3倶楽部	八木 兵司 (332-5881)
第4倶楽部	岡村 英明 (332-1400)		